



はなみずき

mail:wjls@wjls.org http://www.wjls.org/

一年のまとめに向けて

校長 東間 義孝

今年度の授業日も、残すところあとわずかとなりました。いよいよ一年のまとめの時期です。今の学年で身につけるべき内容の取りこぼしがないように、そして子ども一人ひとりがこの一年間の成長をしっかりと実感できるように、先生方も授業の工夫を重ねています。その中から幼稚部と高等部の学びの様子を少しご紹介いたします。

<幼稚部>「おみせやさんごっこ」



いらっしゃいませ～

いくらですか？

これ ください！

ありがとうございます

年中さんと年長さんが一緒になって、自分たちの作った野菜や食べ物を、売り手と買い手に分かれて、日本語で会話をしながら買い物体験を楽しみました。

<高等部1年>「オリジナル辞書を作ろう」

英語では一人称として「I」「my」「me」などが用いられますが、日本語には実に多様な一人称表現があります。それらの言葉を集め、意味や使い方、例文を添えた「一人称辞典」や、「オノマトペ辞典」など、それぞれの視点に沿った言葉を集め、解説を載せたオリジナル辞書の作成を行っていました。



車座ミーティングに参加

先日、みらい共育小委員会の皆様が初の試みとして企画してくださった「車座ミーティング」に参加させていただきました。

幼稚部から高等部まで、幅広い学年の保護者の皆様が集い、お子さんの成長の実感や日頃の悩みについて率直に語り合う、温かな時間となりました。

「15分を一セットにすると、無理なく少しずつ学習習慣が身に付いて来ている」「今では自然と机に向かうようになった。そこに至るまでには様々なことがあったが、どこかのタイミングで吹っ切れたようだ」「思春期に入り、子どもの言動に戸惑うこともあったが、その時期を越えると…」など、先輩保護者の体験談は、これからその時期を迎えるご家庭にとって大きな励みとなっていました。また、幼いお子さんをもつ保護者のお話は、先輩保護者にとってわが子の成長を改めて振り返る機会にもなっていたように思います。

学習への向き合い方や子どもとの関わり方、ほどよい距離感について保護者同士が共有し合う姿は大変印象的で、私自身も有意義なひとときを過ごさせていただきました。



また、私からも「頭」と「心」についてのお話をさせていただきました。

認知能力（頭：いわゆる“見える学力”）は、非認知能力（心：やる気、粘り強さ、自己調整力などの“見えにくい力”）とのバランスで伸びていくと言われています。

非認知能力は、日々の関わりの中でこそ育まれていきます。「結果よりも過程に目を向け、小さな伸びを認める」「反抗期は自立への準備期間と受け止め、口を出し過ぎずに“見守っているよ”というサインを送り続ける」など、家庭でのお子さんへのスタンスや関わり方が、子どもの成長の栄養や原動力になることをお伝えしました。

ミーティング終了後も、多くの方々が時間の許す限り語り合い、情報交換を続けておられました。その姿から、本校の保護者コミュニティの温かさと前向きさを感じさせていただきました。ありがとうございます。



3月の主な予定

- 3月 7日 第3回入学説明会（次年度）
職員会議（学級編制）
- 3月 14日 幼稚部卒園式（午後）
幼稚部年中修了日
自宅研修（小学部以上、通知表）
- 3月 21日 修了日、通知表配付
卒業式予行（午前）
卒業式（午後） ※特別時程
- 3月 22日 引継ぎ打合せ会
- 3月 28日 第4回入学説明会（事務局）